



【木こころ運動 つみ木100万個プレゼント】



NPO 法人 幸福な家庭環境をつくる会では、平成 25 年度の全国統一事業として、子どもたちや、高齢者の方々につみ木をプレゼントする『木こころ運動』を実施しています。弊社でも 木くばり 8 月号に掲載しましたように受贈団体を募集したところ島田市、藤枝市の団体様より応募がありました。

10 月 4 日に受贈決定した 8 団体の代表の方にお越し頂き、“つみ木贈呈式”を行いました。幼稚園・保育園などの施設に各 2,000 個プレゼントしました。



各団体様ごとに持ち帰ったつみ木は、みんなで“面取り”の作業をしてから遊んでもらうことになっています。木を磨く（面取り）ことは、自分の気（心）を磨くこと。木を使う（つみ木）ことは自分の気（心）を使うことになります。自然を愛し、感謝する心が自然に身に付いて、皆思いやりのある人間に育ててくれたら嬉しいです。

11 月 23 日（土）には、受贈団体の皆さまに、お集まり頂き、五和幼稚園様を会場にお借りして【つみ木フェスティバル】を開催します！



【新築現場情報】

島田市 S 様邸 木工事 外壁工事 順調に進んでいます。玄関まわりの外壁腰板には、柿渋（柿渋コートG）を塗りました。科学物質を一切使用せず、無臭・無害で、木の呼吸を妨げずに防腐、防虫、耐光性、不燃性に優れた効果を発揮する塗料です。



島田市 O 様邸 10 月 19 日 上棟です。棟梁は山田建築様 来年 2 月に完成の予定です。構造見学会 11/16・17、また完成見学会の開催も予定しています。



木くばり

木がつくる住環境

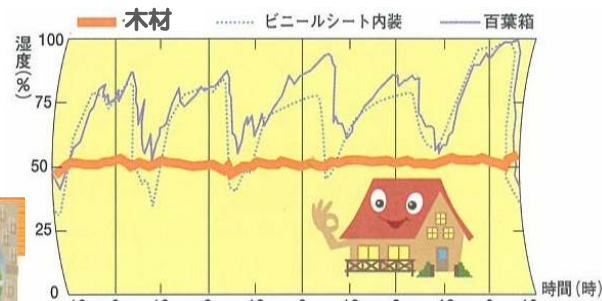
湿度編 ②



ママ、雨が降り出してきたよ。でも、なぜ家の中がジメジメしてこないの？



木は湿度が高いと水分を吸収してくれるの。まるで、天然の除湿器みたいでしょう。



6畳平屋の家2棟を木材とピンルとで内装し、湿度変化を観測。木材研究資料No.11

表面結露を防ぐ木材

冬季、夜間になって住居の窓や壁の外側が冷えるのに伴い内側の温度も低下し、それに接する空気層の温度も下がります。その結果、窓や壁の内側に接する薄い空気層の温度が露点になり、窓ガラスや壁面に水滴が生じます。これが表面結露です。表面結露は、炊事場や風呂から多量の水蒸気が流入した場合や、夏季の冷房時にも生じます。結露は材量の熱伝導率や熱容量が関係します。木材が表面結露を起こしにくいのは、アルミニウムやガラスに比べ、これらの値が小さいことがその理由の1つです。

また、木材は吸・放湿性の多孔質で、多量の水分を保有できる細胞の集合体であることがアルミニウムやガラスとの決定的な相違点です。そのため、木材には水滴の垂れるような、表面結露が生じにくいのです。

湿度と居住性

住宅内の湿度変化は、気候、季節、立地、生活様式によって異なります。また、住宅の構造、開口部の位置や大きさ、換気扇などの生活器具によっても影響を受けます。これらの条件のすべてを、内装材料だけで充足することはきわめて困難です。

しかし、炊事の時など水蒸気を多量に発生するときは、換気扇を回し窓を開け風を通し、雨天のときは窓を閉め、室内の湿気を適度に調節しています。したがって、重要なことは、住宅の基本的な調湿性能の程度です。無居住、密閉状態において、住宅がどのくらいの湿度調節機能を備えているかです。

このような観点からも、木材、木質系材料は最適であることが確認できます。